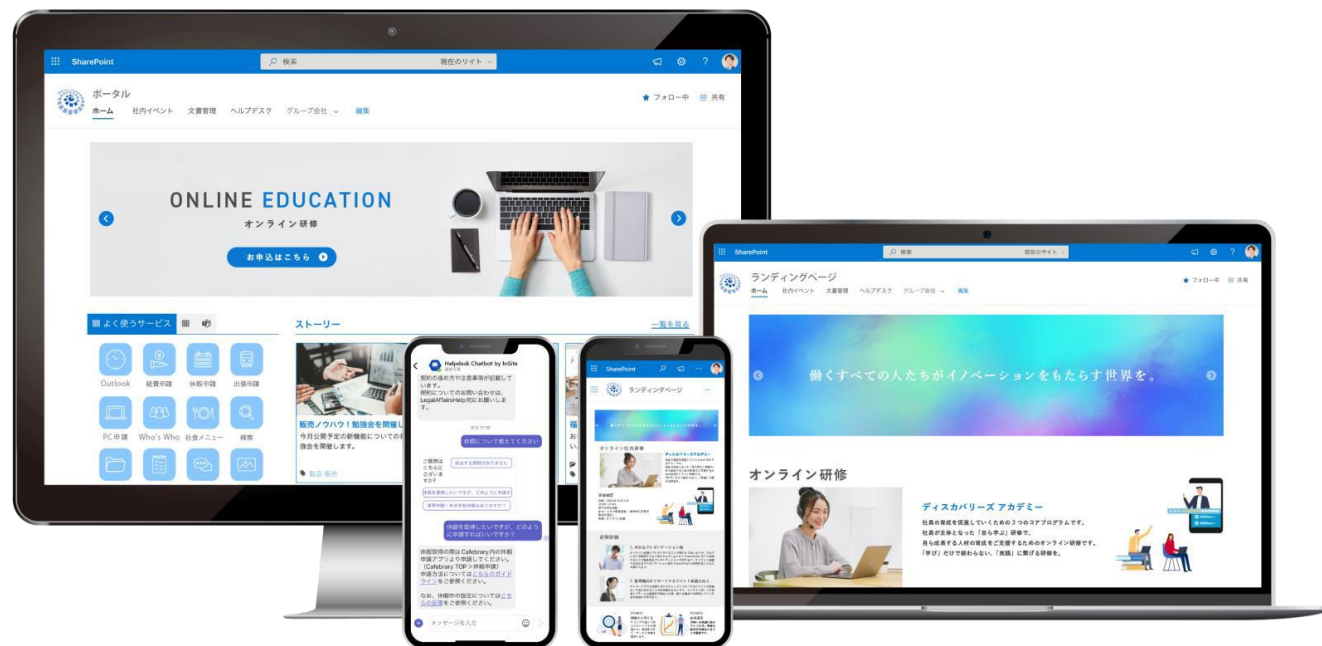


人と情報、ナレッジをつなげる

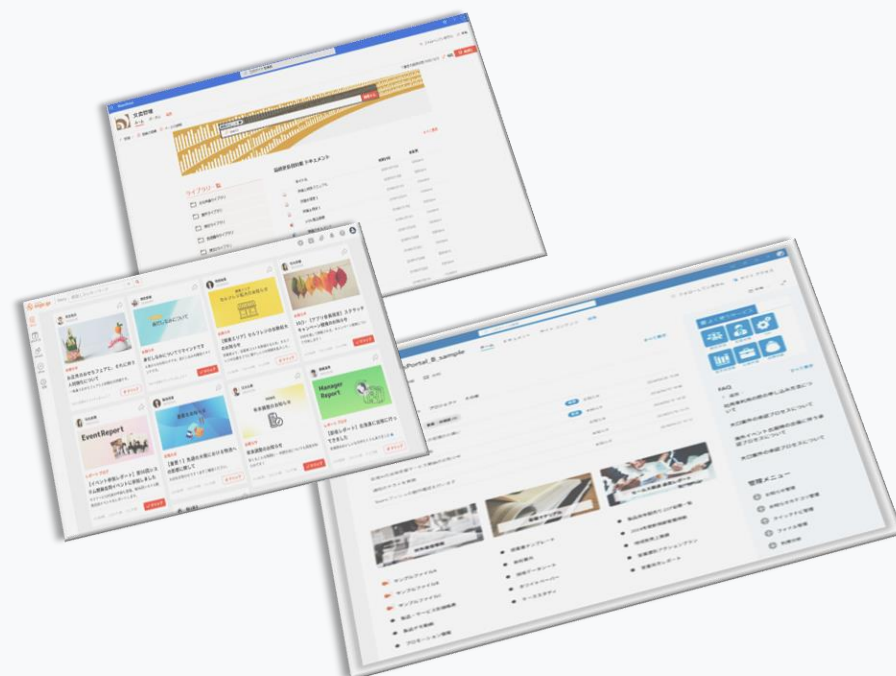
Discoveries InSite ご紹介

IS INSITE



アジェンダ

- ディスカバリーズのサービス全体像
- 社内ポータルと InSite 3つの価値
- 導入のステップ



設立

2009年4月

資本金

3293万円

オフィス

東京都港区北青山2-14-4 the ARGYLE aoyama 6F



代表者

代表取締役社長 島田 祐一郎



事業

1. エンタープライズ向けクラウドサービスの開発/販売
2. DX コンサルティング

ミッション

世界中の働くすべての人たちが、イノベーションをもたらす世界を作る。

受賞歴

マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2011

デジタルマーケティング コンピテンシー部門

Innovation Leaders Summit

TOP100 STARTUPS

ベストモチベーションアワード2019

リンク&モチベーション チームアワード



セキュリティ

JIS Q 27001 : 2014 (ISO / IEC 27001 : 2013年版)



パートナーシップ

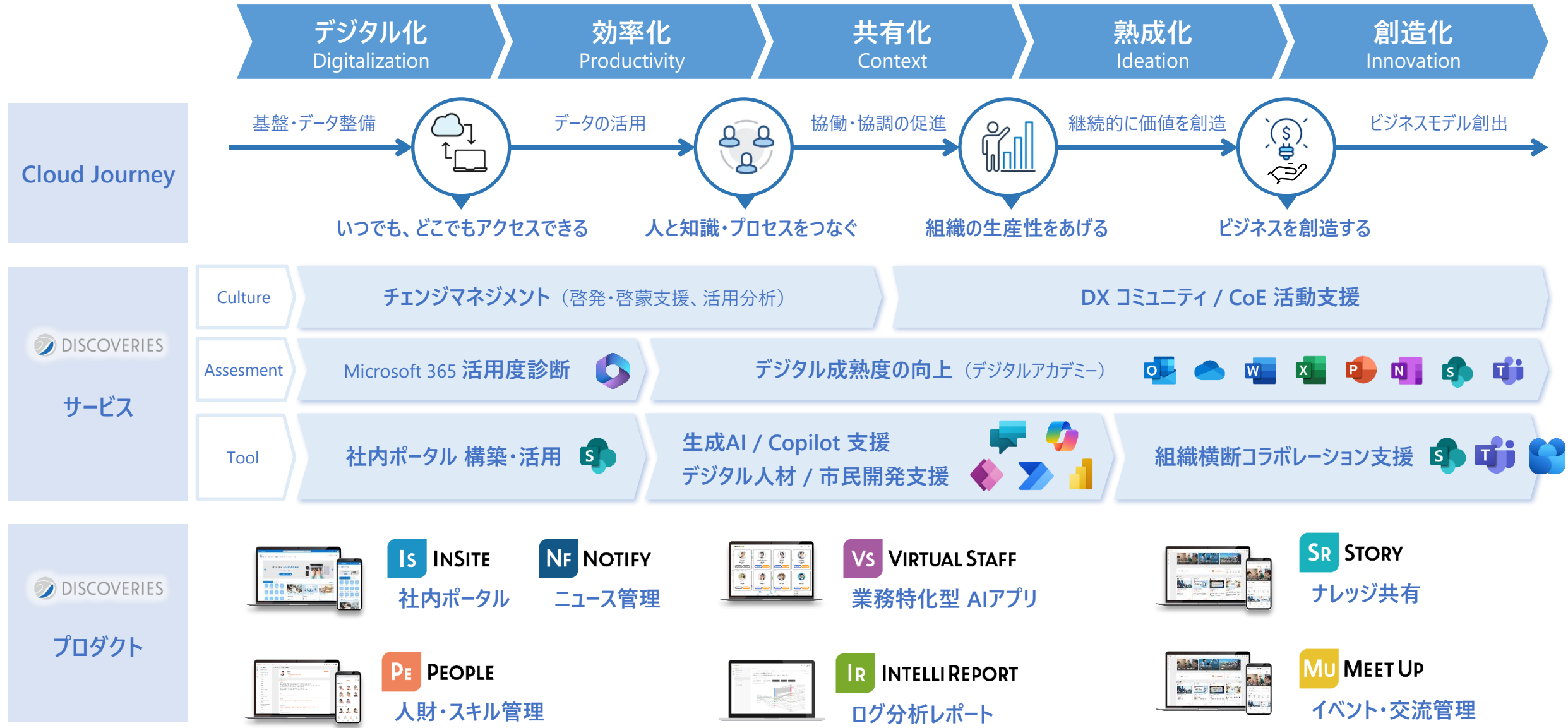
マイクロソフト ゴールド パートナー

マイクロソフト チームズ パートナーアライアンス 2021

Gold
Microsoft Partner



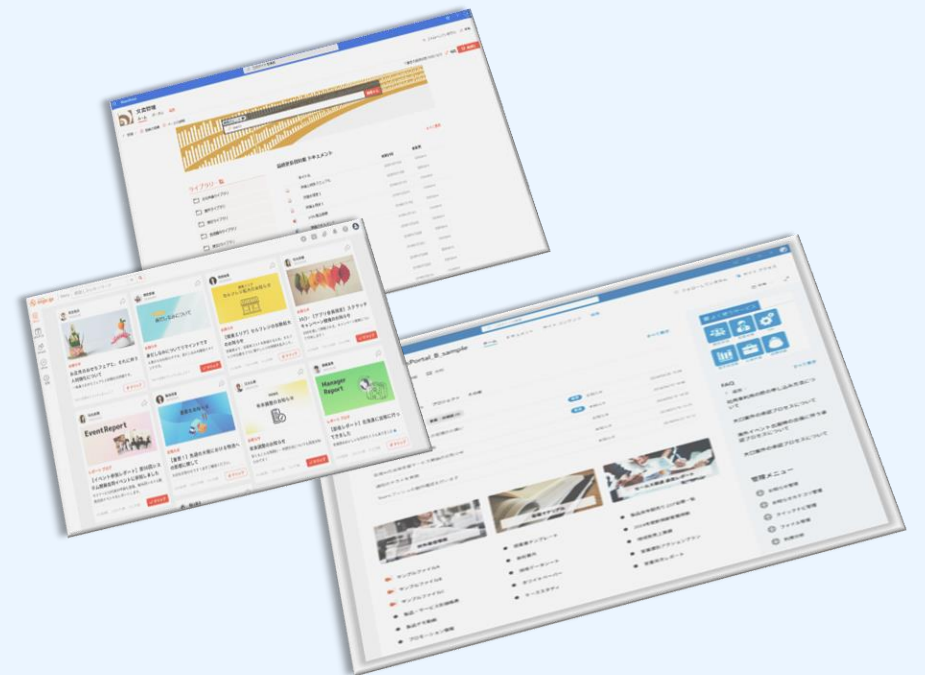
DXによるビジネス変革 ディスカバリーズのサービス全体像



社内ポータルと InSite 3つの価値



- 社内ポータルとは
- 社内ポータル | 利用状況と目的、課題
- InSite 3つの価値

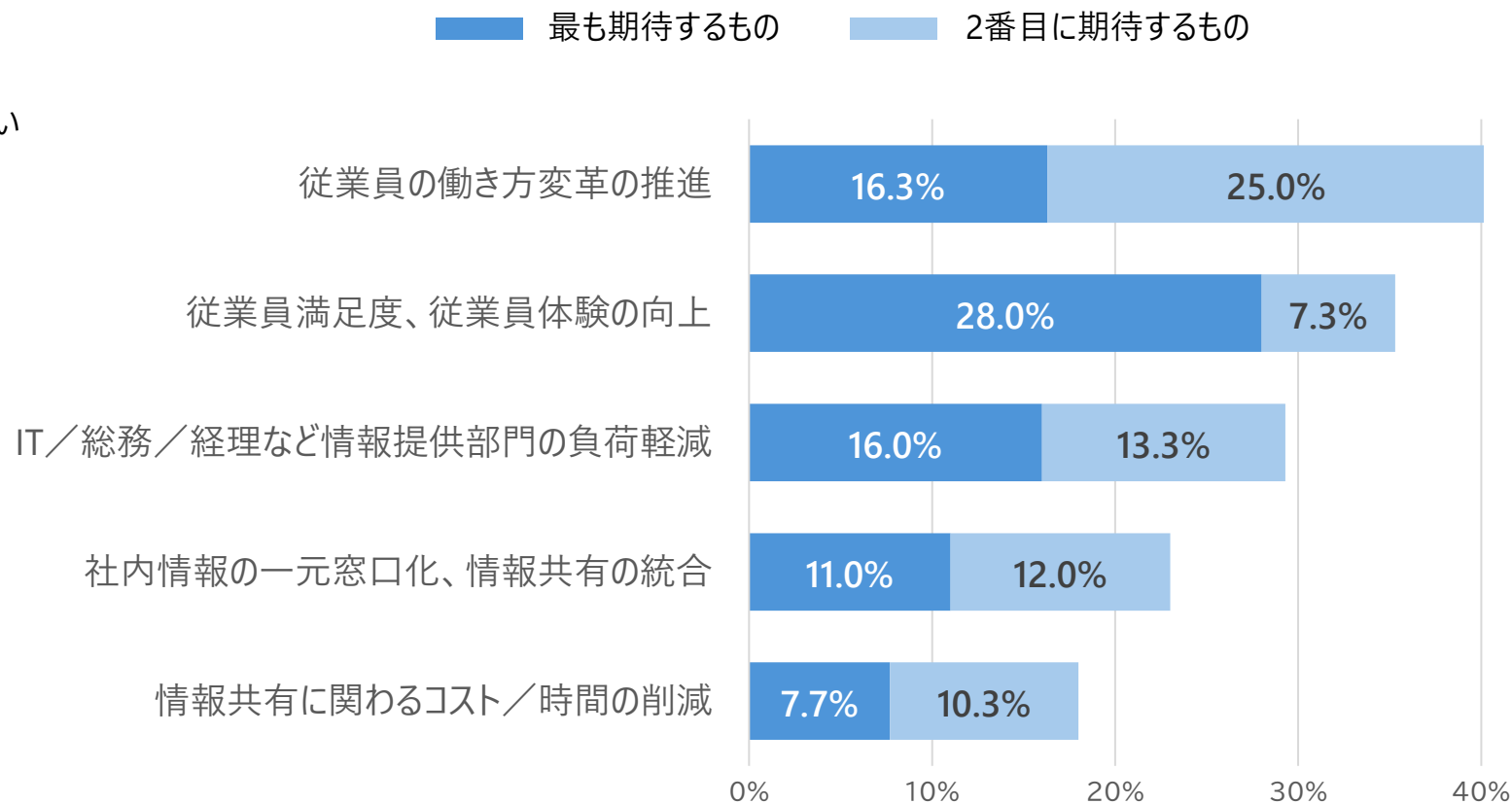
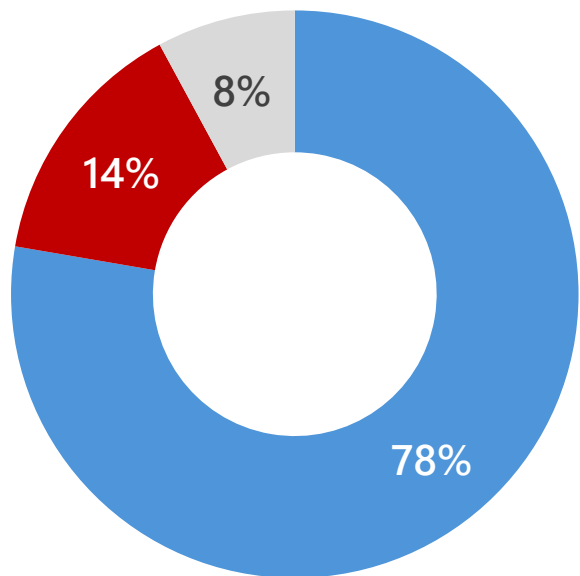


社内ポータル 情報が発信・共有・蓄積され、情報へのハブとなる Web サイト



- デジタル化が進むと情報が多様化するため、効率よく情報を入力することは **生産性向上** に直結します。
- また、組織全体で情報入手の効率が向上すると、**ナレッジ共有のカルチャー** が醸成されやすくなります。

- 現在利用している／運用している
- 以前利用していたが現在は運用／利用していない
- 今まで運用／利用したことはない



出典： August 2022 | IDC Doc. #205713

- **78%** の企業が社内ポータルを利用している
- 今後社内ポータルへ期待している上位は、**働き方変革の推進、従業員満足度の向上、情報提供部門の負荷軽減**



こんなお悩み、ありませんか？

見栄えのよい
社内ポータルの
構築ノウハウがない

SharePoint の
専門知識がない...

社内コミュニティを
活性化したいけど
どうしたら...

アクセス数や利用度を
調べたいけど
どうしたら...



- “利用者”から見た社内ポータルの課題は、次が上位を占める

情報の整理

使い勝手

情報の更新頻度

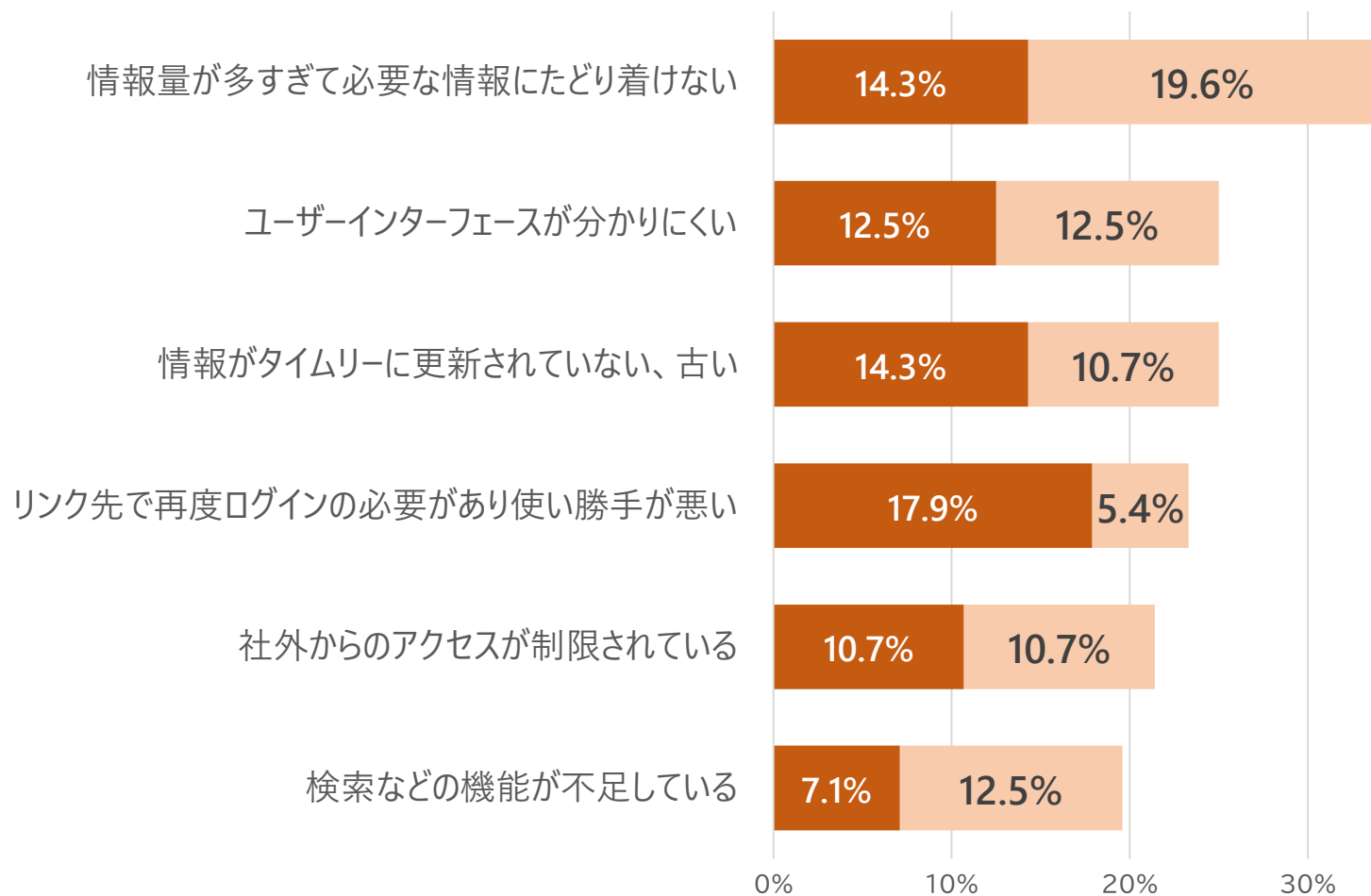
- “運用面”から見た社内ポータルの課題は、次が上位を占める

構築・推進のノウハウがない

情報発信者の負担が大きい

運用メンバーと利用部門の役割分担やコミュニケーション

最も当てはまるもの 2番目に当てはまるもの



出典： August 2022 | IDC Doc. #205713

1 運用負担を抑え、スピーディーに

誰もが利用しやすい **ポータルを展開**

- 業務に合わせた **サイトテンプレート**
- 自社テンプレートで **サイトを複数展開**

2 人と知識・プロセスをつなげて

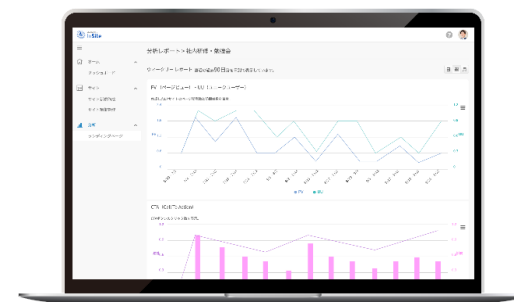
社内コミュニティの活性化

- すぐに使える **アプリを多数用意**
- 現場の **ナレッジ共有を促進**

3 ポータルの利用傾向を可視化し

さらなる **価値創出に発展**

- ポータルの **利用状況が分かる**
- 生成AI活用の **データ基盤を作る**



Microsoft 365

Copilot



Is INSITE

Is INSITE 導入効果レポート | 導入後の効果

サイト展開・運用工数

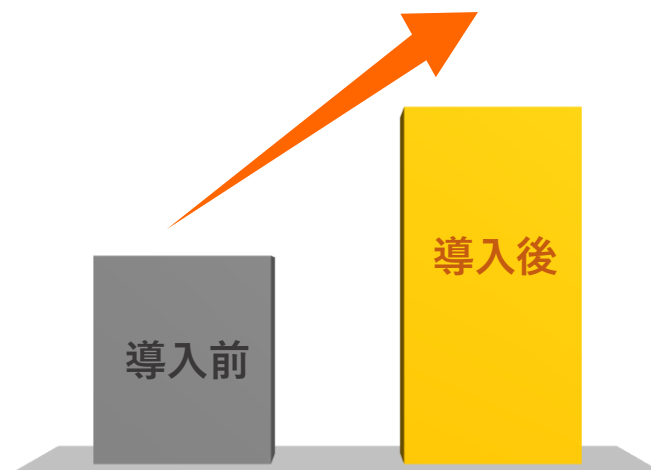


サイト展開・運用工数が

80% 削減

利用者1,000名の企業でInSite導入して3年間利用した工数（管理者・利用者タスク）を比較

社内ポータル利用率



ポータル利用率が

平均 **50%** 向上

利用者1,700名の企業でInSite導入してポータル、ページアクセス数の変化を比較

検索時間



情報検索時間が

平均 **1/4** に削減

利用者700名の企業でInSite導入して目的の情報にたどり着くための時間を比較

1 運用負担を抑え、スピーディーに

誰もが利用しやすいポータルを展開

Is INSITE

- 業務に合わせた サイトテンプレート
- 自社テンプレートを 複数サイトに展開



業務に合わせた サイトテンプレート

もっとポータルを活用したいけど、どんなものを作ったらいいのかイメージできない...そんなお悩みはありませんか。これまでのノウハウが凝縮されたテンプレートをご用意しました。利用シーンに合ったポータルをぜひご活用ください。

ポータルサイトテンプレート

社員が共通で利用する情報の発信や管理に最適化されたデザイン、アプリをレイアウトしたテンプレート



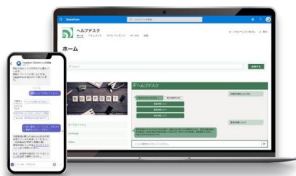
ポータル



ランディングページ



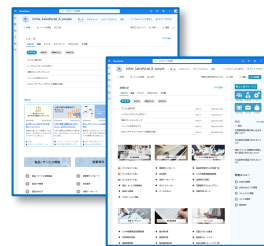
文書管理



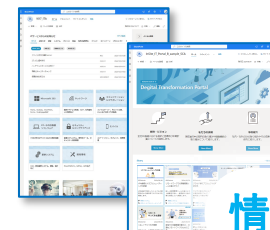
ヘルプデスク

業務テンプレート

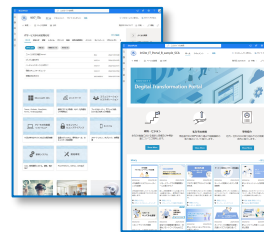
部署内で情報を発信・共有・蓄積・活用することに最適化されたアプリを配置したテンプレート



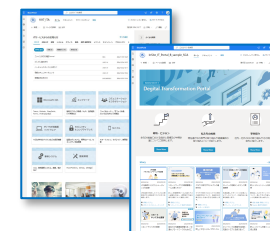
営業部門



情報システム部門



総務部門*1



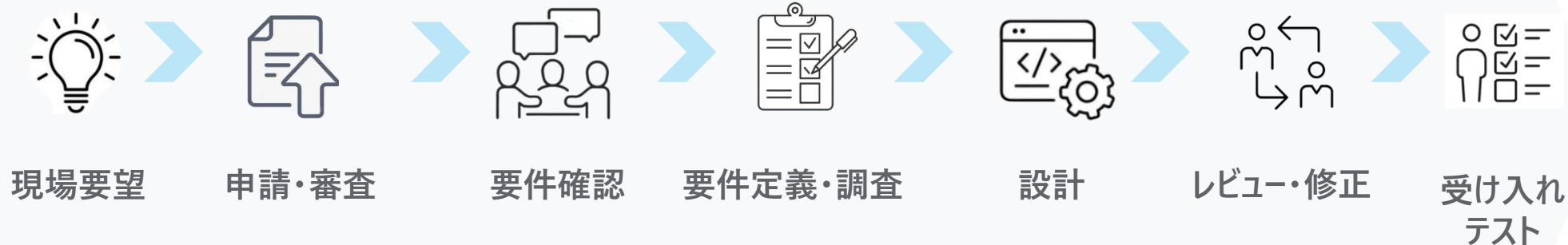
広報部門*1

*1 近日リリース予定

業務に合わせた サイトテンプレート

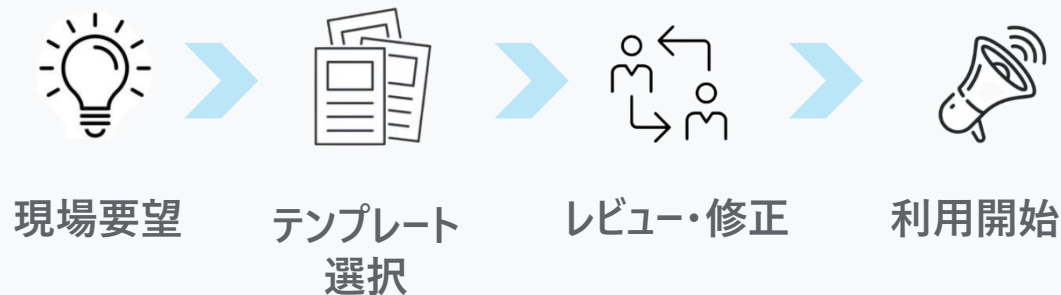
- テンプレート展開することで使い勝手のいいポータルをスピーディーに作成することができ、展開スピードを上げ、利用度を高める効果が発揮されます。
- テンプレートから必要な機能を選ぶことで、より自社にあったサイトを利用可能です。

一般的な サイト構築の場合



時間

InSiteサイト テンプレートの場合



INSITE

用途に合わせたポータルサイトテンプレート

利用シーン

全社ポータル | 事業部ポータル | など



INSITE ポータル
by DISCOVERIES

「効率よく情報に辿り着くこと」、
「ナレッジを素早く検索すること」は
生産性向上に必要不可欠。
情報が見やすくレイアウトされた
全社ポータル、事業部ポータル、
部門ポータルで情報共有を促進

利用シーン

社内研修会 | メンバー募集 | など



INSITE ランディングページ
by DISCOVERIES

プロジェクトや部門を横断したチー
ム主体で情報発信。
「参加する」、「ビデオを見る」といっ
たCTA (行動喚起) ボタン付きの
ページを作成し、アクセスやクリック
の傾向を把握しながら運用

利用シーン

社内規定文書 | 製品マニュアル | など

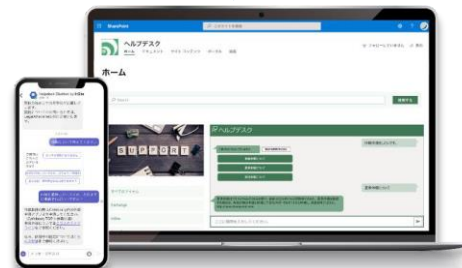


INSITE 文書管理
by DISCOVERIES

Teams で共有されるファイルは探し
づらく、ファイルサーバーに保存した
ファイルは投稿者にしかわからない...
探せる人、探せない人の情報検索
リテラシーに依存しない文書管理を
実現

利用シーン

IT部への質問 | 人事部への相談 | など



INSITE ヘルプデスク
by DISCOVERIES

同じ質問を受け答えするのは時間の
ムダ。よくある質問をQ&A形式で
保存して、後はチャットボットに自動
回答。
Teams からもアクセスでき、業務中
すぐにアクセスして自己解決を促進

INSITE ポータル

利用シーン

全社ポータル | 事業部ポータル | 製品情報ポータル | など

直感的でわかりやすいデザイン

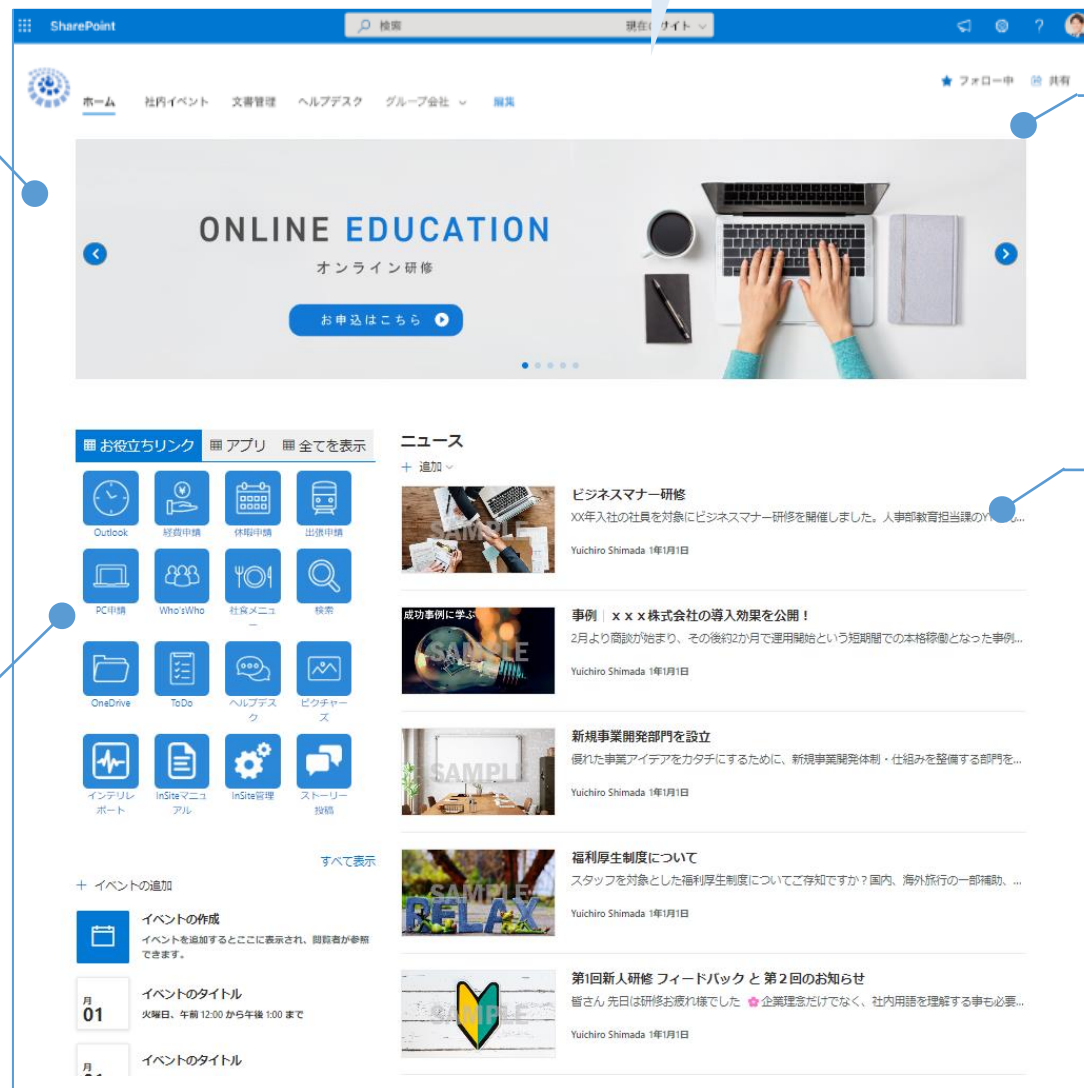
わかりやすいポータルデザインのため、従業員の誰もが素早く簡単に情報を探し出すことができます。

スマートフォンやタブレットでも綺麗で見やすいレスポンシブデザインを採用

クイックナビ

よく使用するアプリはナビゲーションとしてアイコンでも追加でき、タブで分類することができます。

タブで分類した視認性の高いアイコン型リンク集で素早く簡単に情報にアクセスできます。



ローテーションバナーでの情報発信

一定期間目立たせたい情報へのリンクをページトップに画像と共に複数掲載でき、バナーが紙芝居のように切り替わって表示されます。掲載期間の設定も可能です。

社内ニュース

ニュースを画像つきで時系列に掲載。新しいものを上に表示し、組織に最新情報を届けます。

Teams連携



TeamsからもInSiteポータルにアクセス可能です。

INSITE ランディングページ

利用シーン

社内研修会 | 役員メッセージ | メンバー募集 | など

ランディングページの概要

役員メッセージや参加必須のイベント申し込み、アイデア募集など、社員へ特定の情報を周知し、行動を促したい際に有効です。

ランディングページの効果

1つのページに必要な情報（文章、画像、ファイル、アクションボタンなど）を集約することが可能で、可視性が高く、エンゲージメント強化が期待できます。

専門スキルがなくても作成できる

ステップに沿って情報を入力するだけで、訴求力の高いランディングページを作成・公開できます。



効果測定

ランディングページの効果は、トラフィックとコンバージョン測定で判断できます。

作成した「ランディングページ」への訪問者数や、CTA（行動喚起）ボタンをクリックした数から、組織の中でどのように閲覧されているのか、改善点がどこにあるのかといったヒントが得られるため、施策のブラッシュアップが可能です。

▼ CTA ボタン クリックのインサイト

CTAボタンをクリックしたユーザー（125人）

日付	ユーザー	組織
2020/03/01 17:00	吉田 加奈	人事部
2020/03/01 16:03	Michael Apatow	総務部
2020/03/01 15:20	久佐賀 由紀	人事部
2020/03/01 12:50	工藤 竜弥	開発部 開発2課
2020/03/01 10:03	鶴崎 省吾	営業部 営業2課

INSITE 文書管理

利用シーン

社内規定文書 | 就業規則 | 製品マニュアル | など

文書管理の概要

InSite文書管理は、企業内での文書の作成、管理、共有を効率的に行うためのサイトです。

複数ライブラリや階層可能

SharePoint では標準提供されていない階層型フォルダを作成・管理して目的の情報を探しやすくナビゲートします。

キーワード以外の検索動線

カテゴリ分けやラベル付け、個々のファイルへのタグ付けなど、必要なナレッジに簡単にアクセスして利活用できる仕組みが整っています。



キーワードから情報検索

曖昧な情報でも、キーワードで検索すれば、目当てのファイルを見つけることができます。用語セット (プロパティ) を付与して、ライブラリやフォルダを横断したサイトコレクション全体の文書検索も可能。

時系列での検索

業務で作成しているファイルを時系列順に表示し、最新のファイル探すことができます。

INSITE ヘルプデスク

利用シーン

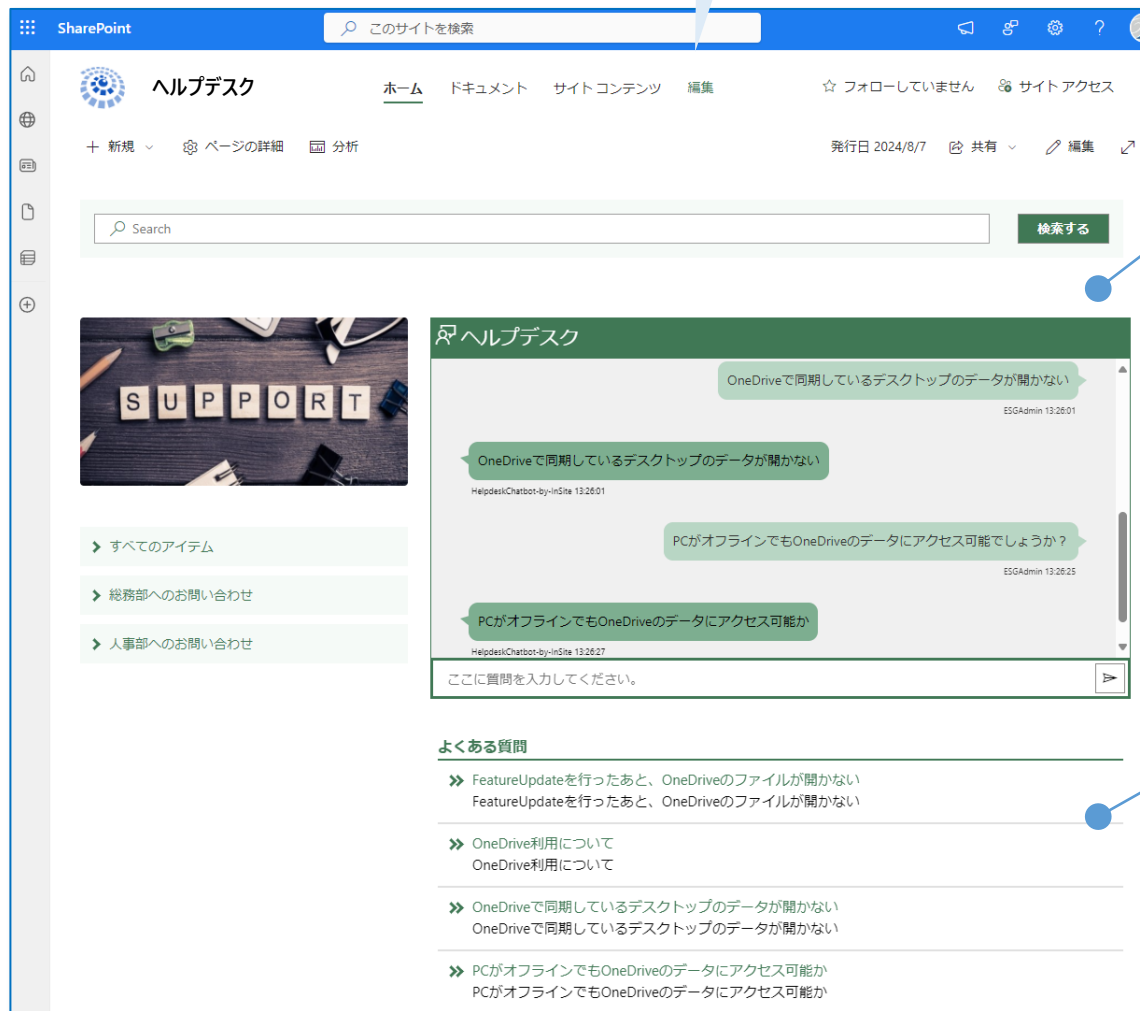
IT部へのトラブル相談 | 人事部への福利厚生問い合わせ | など

チャットボットによる ヘルプデスク

ヘルプデスクサイト上に登録した、問い合わせの回答および社内サイトへの誘導を、ヘルプデスク担当者に代わりチャットボットが自動回答することができます。

Teams 連携可能

スマホからでも快適に利用できます。さらに InSite ヘルプデスクのチャットボット機能は、Microsoft Teams と連携することもできるため、チームごとのQAサイトを用意するなど便利に利用できます。



業務の効率化

チャットボットが24時間365日、担当者に代って対応するので、業務の効率化が図れます。

ユーザーは話しかければすぐに回答が得られるので、スピーディーに目的の情報にたどり着けます。

FAQノウハウを蓄積

よく問い合わせされる内容はFAQに登録し、問い合わせを減らすことができます。

Is INSITE 業務に合わせた 業務テンプレート | 営業部門

営業活動を効率化し、情報共有を促進するためのアプリを組み込んだ業務テンプレートです。

アプリは **コンポーザブル型** なので、必要な機能を選ぶことで、より自社にあったサイトを利用可能です。



知らなかったをなくす ニュース管理

重要なお知らせをメンバーに「確実に」届けることに特化したニュース機能

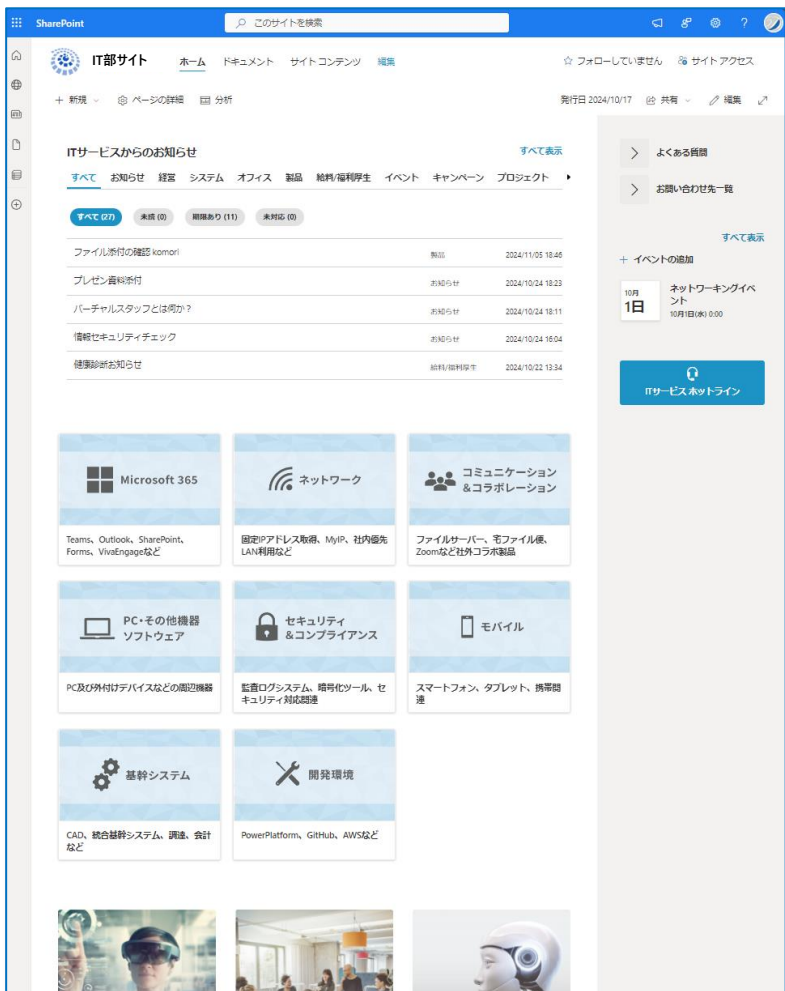
- 未既読の管理
- 自動リマインド
- アクション状況のレポート

営業ナレッジ ストーリー形式で発信

営業活動の取り組みをストーリーで発信します。セグメント配信（限定公開機能）なら必要なメンバーに限定して共有できます。スマホからのストーリー投稿で、外出先からでもタイムリーな情報発信が可能です。

INSITE 業務に合わせた業務テンプレート | 情報システム部門

情報システム部門からの通達やDX活動の共有、説明会などのイベント管理アプリを組み込んだ業務テンプレートです。



活用事例を発信

IT部門の取り組みや成功事例、ユースケースなどをストーリーで発信します。

セグメント配信（限定公開機能）を使って必要なメンバーに限定して共有することもできます。

イベント情報を発信

IT部門主催のイベント情報を発信。所属部署や個人はもちろん、過去のイベントの参加状況に基づいてイベントを招待。研修受講者やイベント欠席者向けのフォローアップが最適化され、次の行動をスムーズに促します。

展開イメージ

現場メンバーにSharePointの専門知識がなくても、スピーディーに活用

全社ポータル

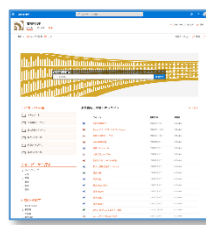
社員全員が利用



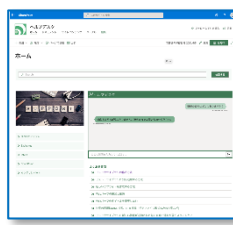
ランディングページ



文書管理

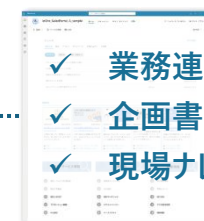
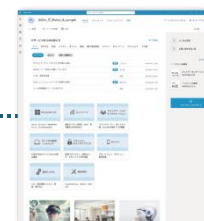
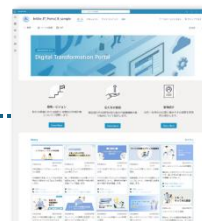


ヘルプデスク



部門サイト

部門内での情報共有

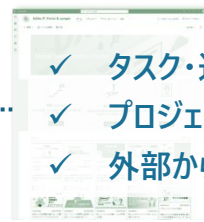
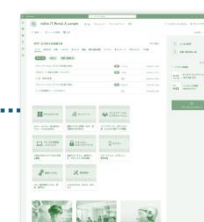


- ✓ 業務連絡
- ✓ 企画書、提案書、会議資料
- ✓ 現場ナレッジ など

例) 営業部 | 人事部 | 総務部 | マーケティング部 | など

プロジェクトサイト

部門横断の横軸活動

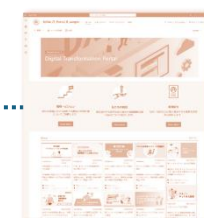


- ✓ タスク・進捗
- ✓ プロジェクト会議資料
- ✓ 外部からの受取・提出資料 など

例) 新製品開発PJ | 品質向上PJ | イベント開催PJ | など

業務別サイト

業務に応じて社員が利用



- ✓ 申請・業務テンプレート
- ✓ ダッシュボード
- ✓ 業務ナビ、FAQ、用語集 など

例) 申請手続き | 業績ダッシュボード | インシデント管理 | など

「見た目」のみならず「使いやすさ」を重視したサイトテンプレートはノウハウが凝縮されており、情報と従業員、従業員同士をつないで、生産性とエンゲージメントアップに寄与します。

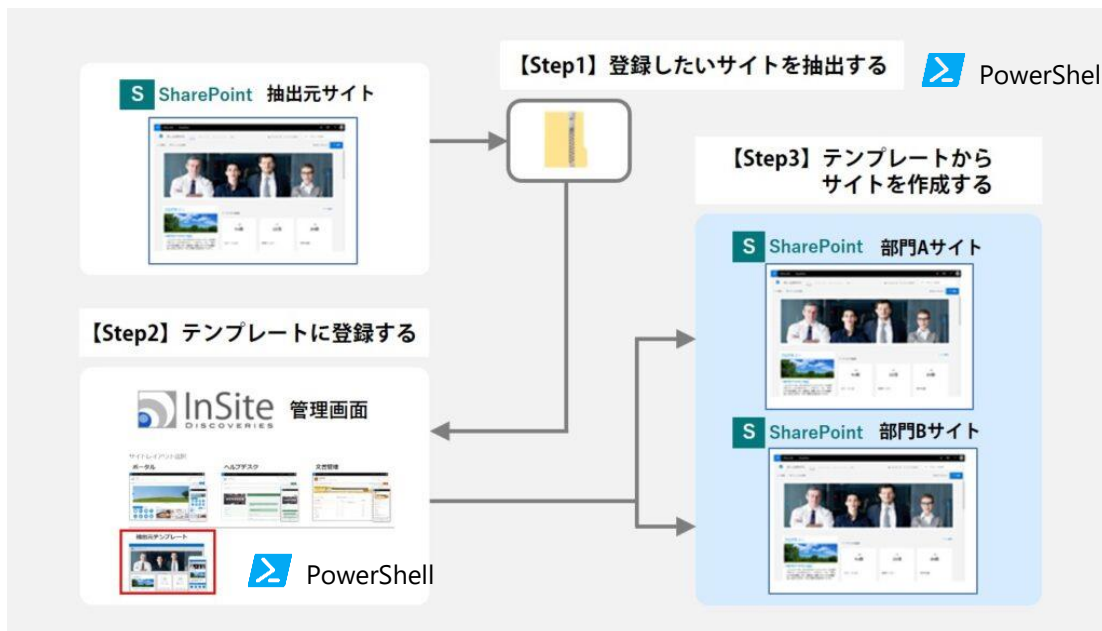
Is INSITE 「組織テンプレート機能」とハブ サイト機能の連携

課題

- ✓ SharePoint Online のクラシック UI では、SharePoint の標準機能としてサイトテンプレートとして保存、テンプレートからサイトの作成が可能でした。
- ✓ しかしモダンUI ではサイトテンプレート機能がなくなり、SharePoint の標準機能ではサイトのコピーを簡単に行うことが出来なくなってしまいました。

解決

この課題を解決するのが InSite の「組織テンプレート機能」です。自社オリジナルのサイトテンプレートを利用して複数のサイトを展開できます。



テンプレートに含まれるもの

- TOPページとWebパーツレイアウト
- カスタムリスト、ドキュメントライブラリ (ビュー、列、アイテムなど)
- サイトコレクション単位のアプリ、アイテム

詳細情報

InSite の「組織テンプレート機能」とハブ サイト機能の連携

2 人と知識・プロセスをつなげて

社内コミュニティの活性化

Is INSITE

- すぐに使える アプリを多数用意
- 現場のナレッジ共有を促進



すぐに使えるアプリを多数用意

Is INSITE

ポータル アプリ

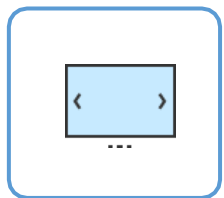
ニュース・掲示板 アプリ

文書管理・ナレッジ アプリ

管理



自社カスタム
テンプレート



ローテーション バナー



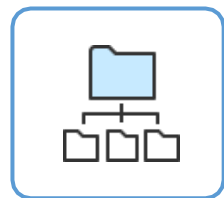
クリックレポート
(ランディングページ)



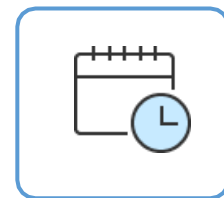
未読・既読管理



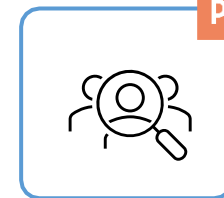
自動リマインド



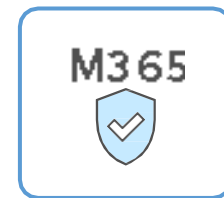
ライブラリ階層型
ビュー



設備予約



社員 & スキル検索



Microsoft 365
認証



セルフサービス
サイト作成



クイックナビ



アクセスレポート
(ランディングページ)



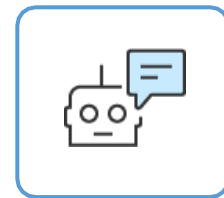
承認機能
(リリース予定)



Teams・メール
通知



ライブラリタグ管理



チャットボット



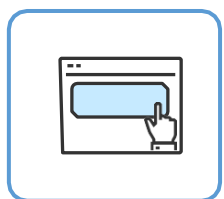
ソーシャルニュース



ユーザー管理



スマホ対応
(レスポンシブUI)



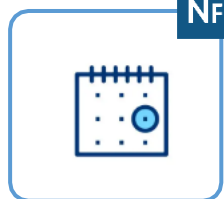
CTA機能付きバナー



Teams アプリ



未対応タスク
管理



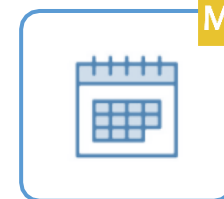
公開日設定



最新ファイル一覧



FAQ



コミュニティイベント



IPアドレス制御

現場のナレッジ共有を促進

重要な伝達事項を確実に届ける

連携プロダクト



社内の情報格差をなくす新しいニュース配信

01

お知らせをプッシュ通知



InSite に組み込まれた Notifyニュースはポータルだけではなく、Teams アプリにもプッシュ通知されます。ユーザーはお知らせに気づきやすくなり、情報の見落としも軽減されます。

02

確認ボタンで必読を徹底



ニュース閲覧者は、記事単位の未読・既読を把握できます。ニュース記事には「確認ボタン」が表示。アクションしていない人へ、自動リマインドされるため、個別の連絡が不要になります。

03

閲覧レポートで伝達状況を可視化



ニュース発信者は、記事の閲覧状況の把握が可能。社内のどれくらいの人数に届いたのか、リアルタイムで可視化できます。

- ✓ インプレッション：閲覧総計数
- ✓ クリックレイト：確認ボタンの完了割合

現場のナレッジ共有を促進

仲間とつながる、知識をつなげる

連携プロダクト

PE PEOPLE

プロフィールから属性情報まで、新しい社員情報の管理を実現

社員・スキル検索の効率化

engage People プロフィール 検索したいキーワード

phase1 | phase2

アドレス帳選択 Discoveries Inc.

ビープルトップ > Discoveries Inc. > 営業統括本部 > 企画営業部 > 第一事業部 > 吉田 加奈

吉田 加奈 +お気に入り

営業統括本部 企画営業部 第一事業部

スコア

投稿	13
カバレッジ	520
アクション	140

プロフィール ストーリー イベント

自己紹介
こんにちは、営業統括本部 企画営業部 第一事業部 チーフの吉田 加奈です。
これまで培った経験を活かし能力ながら、会社の成長に貢献していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

スキル

市場調査 営業戦略 新人教育 MR業務 販売促進 プレゼンテーション

資格/免許

MR認定資格 普通自動車免許

キャリア

- 2017年～ ABコンサル系制作会社にて：営業アシスタントディレクター
- ↓
- 2020年～ プロダクト系制作会社にて：営業、ディレクター
- ↓
- 2017年～ ABコンサル系制作会社にて：営業アシスタントディレクター
- ↓
- 2020年～ プロダクト系制作会社にて：営業、ディレクター

- 従業員プロフィールサービスでは、所属部署や役職だけでなく、得意な領域、スキルなどの属性情報を登録・公開。
- 組織図からはもちろん、スキルや資格、過去の業務などのキーワードからも探せるため、業務効率が格段と上がります

相互理解の促進

engage People 検索したいキーワード

アドレス帳選択 ビープルアドレス帳

People お気に入り

Edward Norton 本社 人事部

May Bank 本社 総務部

三田 翔太 本社 人事部

並木彩夏 本社 開発部 開発1課

原田 詩織 本社 コンサルティング部 コンサル2課

吉田 加奈 本社 人事部

土屋 浩一 本社 営業部 営業2課

多田 公明 本社 営業部 営業1課

工藤 竜弥 本社 開発部 開発2課

- 個人が行ったアクションはポイントとして蓄積し、スコア化・ステータス分けされます。
- 社内情報共有やコラボレーションの貢献度がスコアとして可視化できるため、モチベーションに繋がります。

現場のナレッジ共有を促進

知識と経験を共有し、組織の一体感を高める

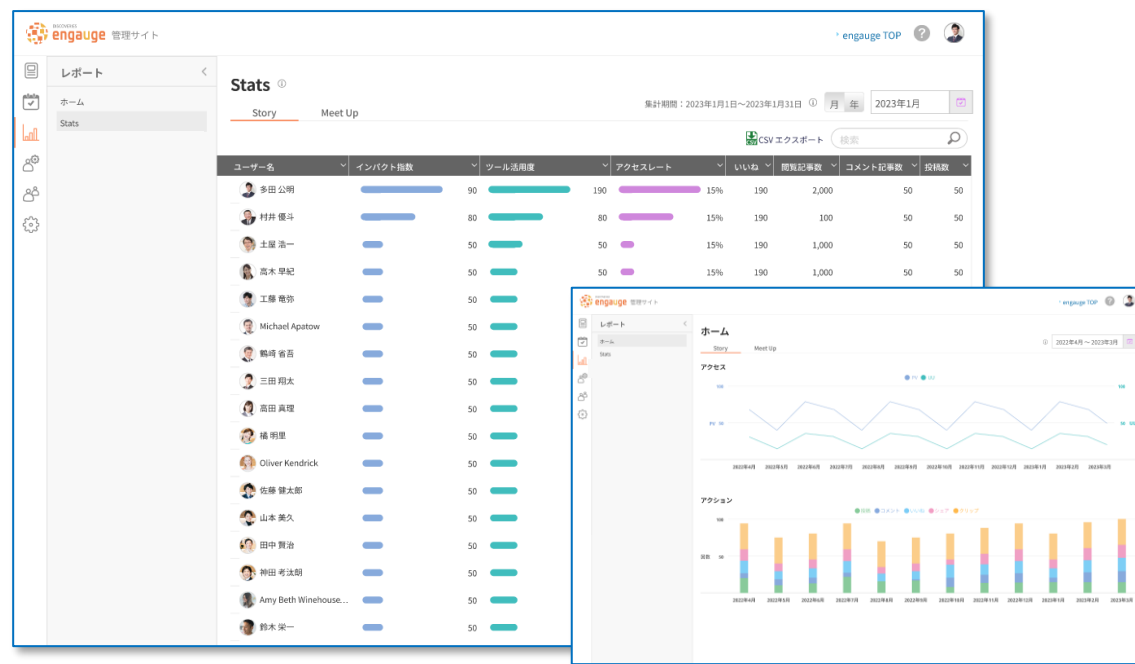
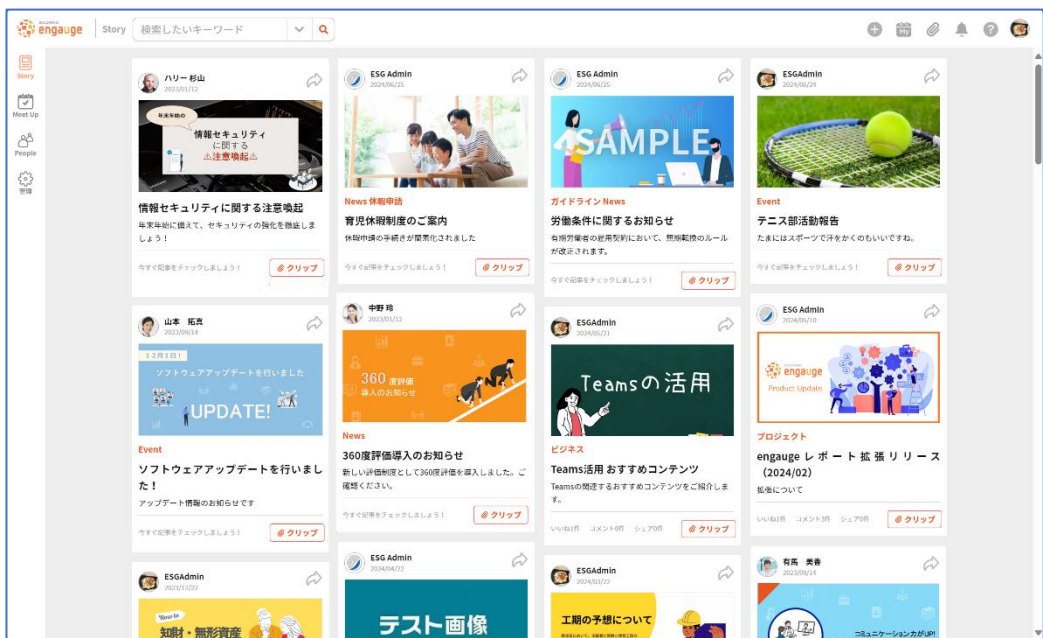
連携プロダクト

SR STORY

ナレッジを社内SNSで簡単に共有。組織を超えた知の共有を実現

仲間の経験を自分の知識に

エンゲージメントを数値で確認



- 自身の取り組みをストーリーで発信します。セグメント配信 (限定公開機能) なら必要なメンバーに限定して共有できます。
- スマホからの投稿で、デスクレスワーカーでもタイムリーな情報発信が可能です。

- 「いいね」「投稿数」や活用状況をユーザー単位で可視化できます。
- 組織間のコミュニケーションの量やインパクト指数など、エンゲージメント状況を数値で確認できます。

現場のナレッジ共有を促進

社内イベントで交流を活性化

連携プロダクト

Mu MEET UP

誰でも簡単に社内イベントを開催。組織や役職を超えて人がつながる

説明会も研修も社内イベントが見える、探せる

社内研修の受講者履修に

- 社内イベントを開催・管理できます。所属部署や個人はもちろん、過去のイベントの参加状況に基づいてイベントを招待。
- 研修受講者やイベント欠席者向けのフォローアップが最適化され、次の行動をスムーズに促します。

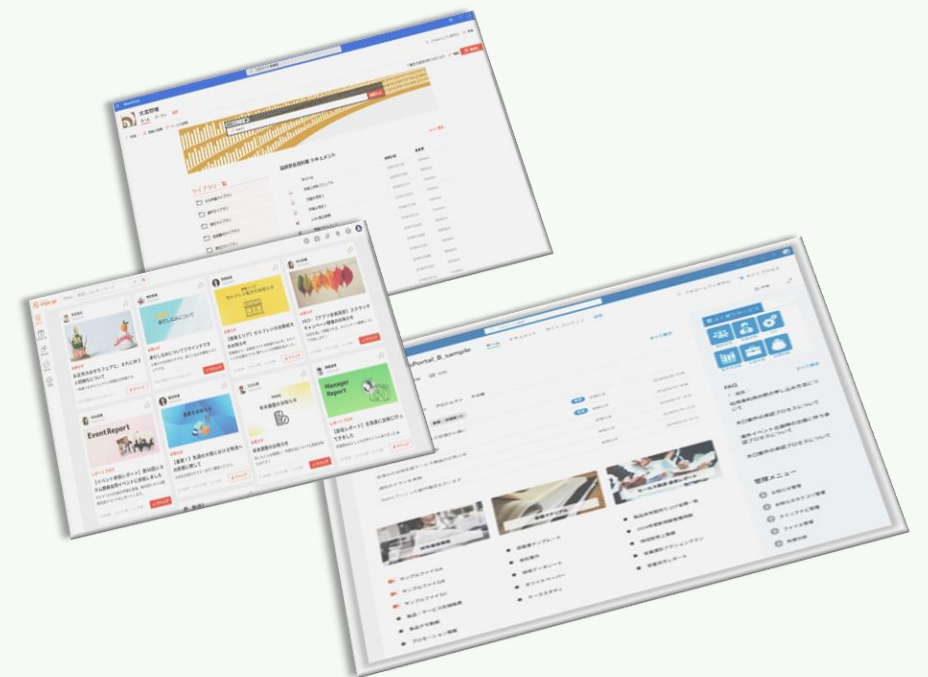
- イベントの招待から、会場等の事前通知やリマインダー、事後の出欠リストまでワンストップで設定可能に。そうすることで、運用管理の負担が軽減できます。

3 ポータルの利用傾向を可視化し

さらなる価値創出に発展



- ポータルのアクセス利用状況が分かる
- 生成AI 活用の データ基盤を作る



ポータルのアクセス利用状況が分かる

InSite で作成した社内ポータルの利用傾向を可視化し、情報共有を加速

連携プロダクト

IR INTELLI REPORT 分析レポート

傾向分析

アクセスされているか
一目でわかる

サイト分析

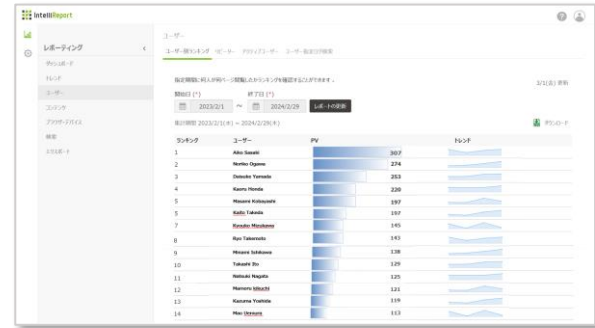
需要のあるコンテンツが
把握できる

ユーザー分析

トレンド傾向が
一目でわかる



コンテンツID	ページタイトル	PV数	閲覧PV/コンテンツ	閲覧率 (%)	滞在時間
1	社内ニュース	428	1	30	32
2	経営方針	420	7	2	1
3	会社概要	380	6	2	6
4	役員一覧	360	20	11	7
5	お問い合わせ	480	18	8	8
6	会社案内	300	20	9	5
7	採用情報	200	4	2	5
8	お問い合わせ	280	6	1	4
9	社内ニュース	280	2	0	2
10	経営方針	270	14	40	14
11	役員一覧	240	21	21	21
12	会社案内	240	5	140	9
13	お問い合わせ	240	20	10	20
14	採用情報	100	5	10	8
15	会社案内	110	11	70	11



導線分析

どのページから入ってきて
どこに移動したのかわかる

ダウンロード分析

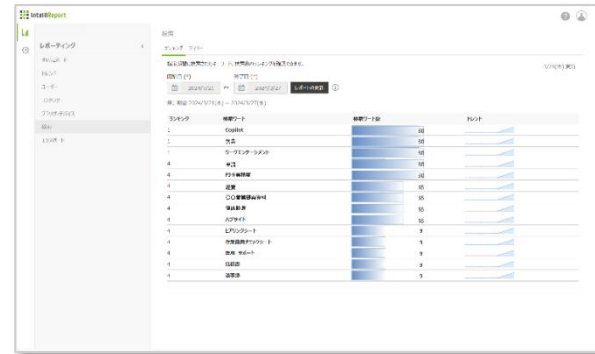
求められている
コンテンツがわかる

検索キーワード分析

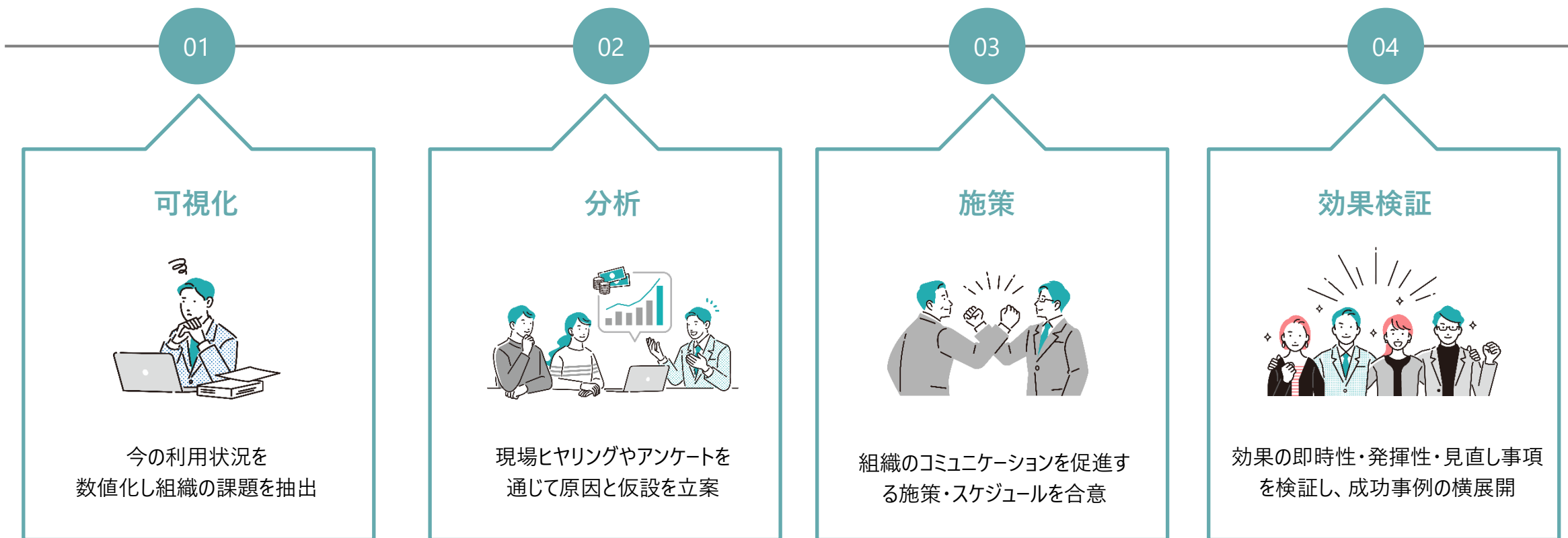
何を探しているのかが
分かる



コンテンツID	ページタイトル	ダウンロード数	ダウンロード率 (%)	ダウンロード率変化
1	社内ニュース	15	15	↑
2	経営方針	7	7	↑
3	会社概要	6	6	↑
4	役員一覧	20	20	↑
5	お問い合わせ	18	18	↑
6	会社案内	20	20	↑
7	採用情報	4	4	↑
8	お問い合わせ	6	6	↑
9	社内ニュース	2	2	↑
10	経営方針	14	14	↑
11	役員一覧	21	21	↑
12	会社案内	5	5	↑
13	お問い合わせ	20	20	↑
14	採用情報	5	5	↑
15	会社案内	11	11	↑



さらなる情報活用に向けたPDCAサイクル



各部門が全社への発信のために部門ポータルを構築、情報発信しているが閲覧数が上がらず、**発信内容が見られているのか分からない**、発信したからには見てほしいという課題を感じる企業は多く存在します。

そこで ディスカバリーズでは、閲覧数を可視化し見られていない原因はどこにあるかを追求し改善するソリューションを提供しております。定量的な分析結果に基づいてPDCAサイクルをまわすので、情報共有の活性化に大きく貢献できます。

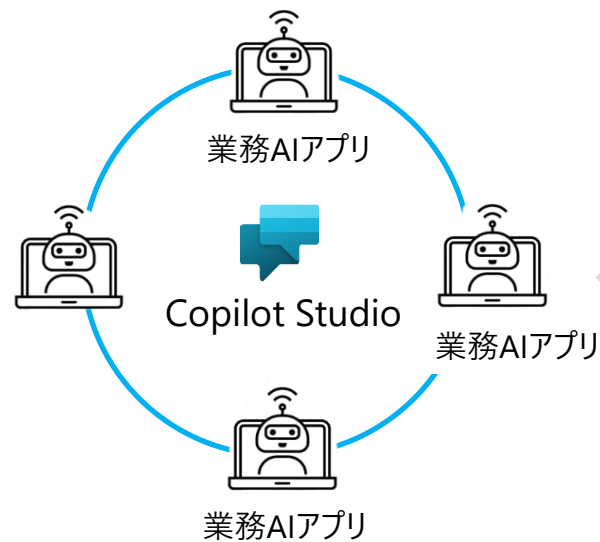
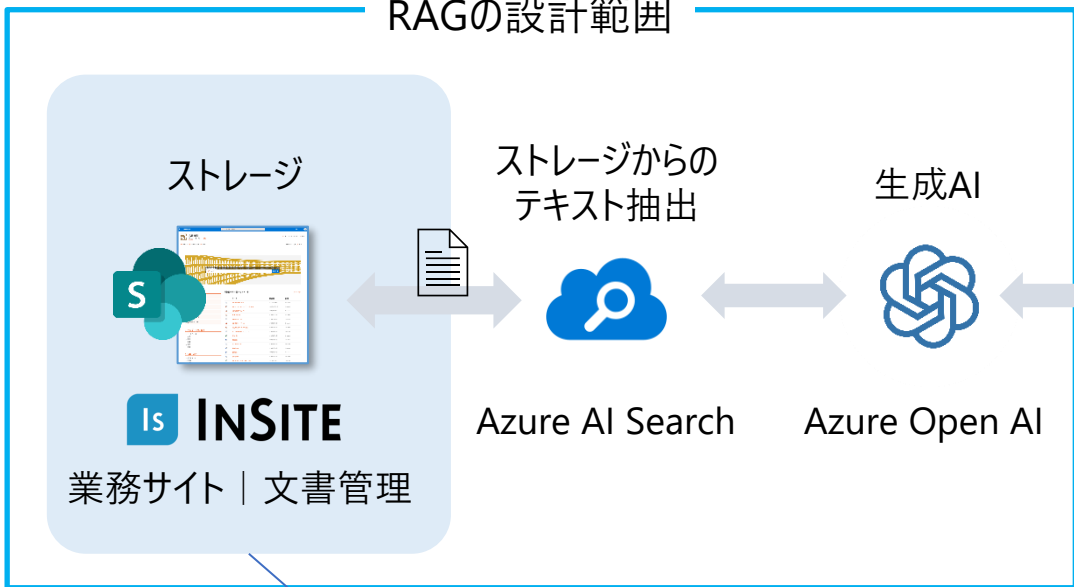
生成AI 活用のデータ基盤を作る

生成AI | データの流れ

業務に特化した専門性の高い生成するAI アプリを作るためには、精度の高い RAG の設計が必要不可欠です。

業務ノウハウを蓄積した
業務AIアプリ

RAGの設計範囲



業務に特化した専門性の高い
AI アプリを活用する



利用者



AIに学習させるファイルを精査

生成AI 活用のデータ基盤を作る

生成AI | 実践例

特許出願中

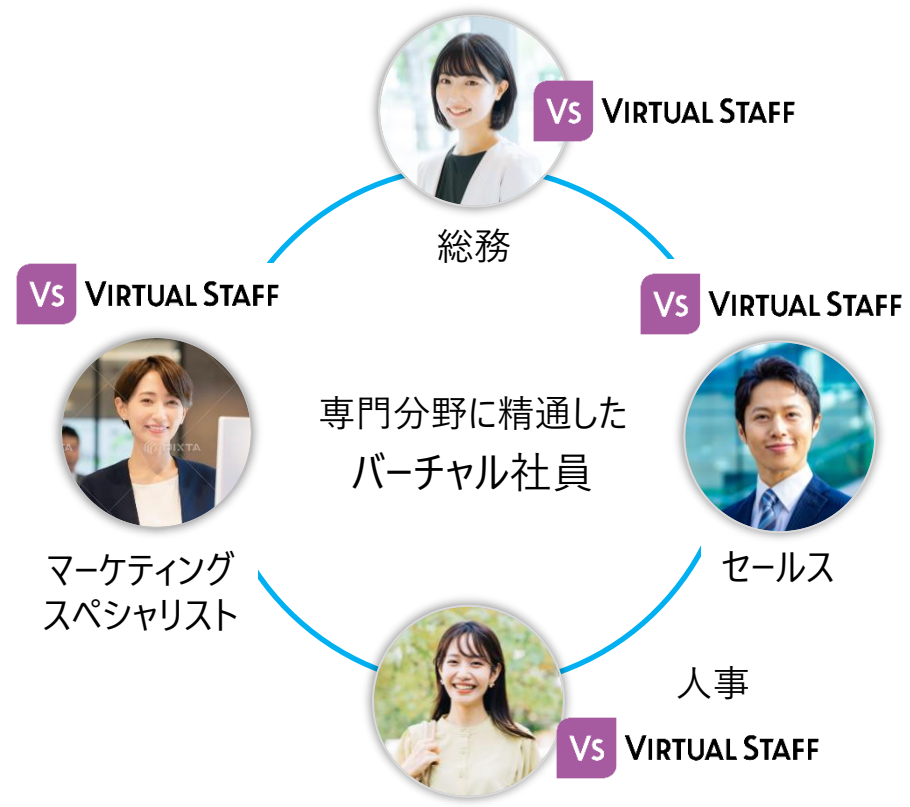
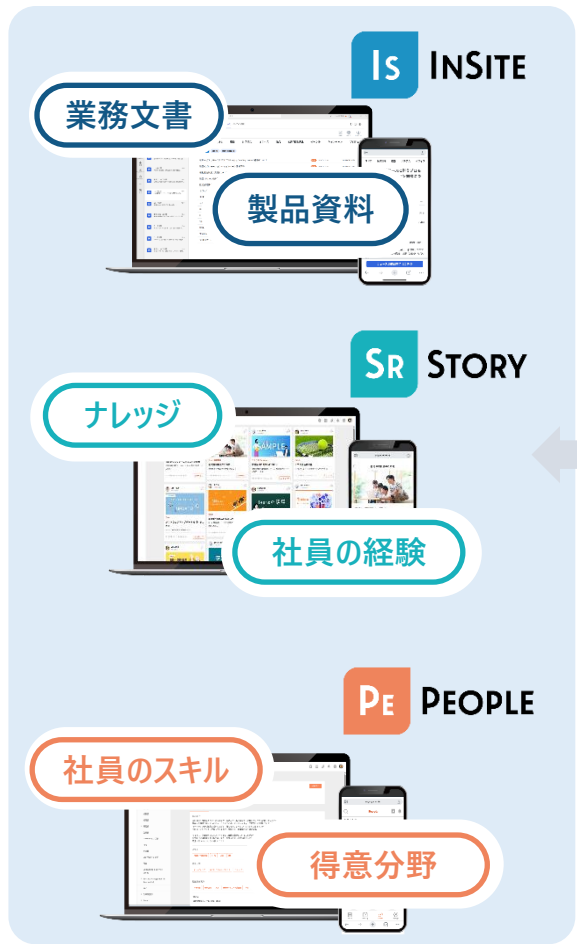
連携プロダクト

Vs VIRTUAL STAFF

生成AI の技術を活用してディスカバリーズ独自に開発を進めた

「お客様専用の会話型生成AI」

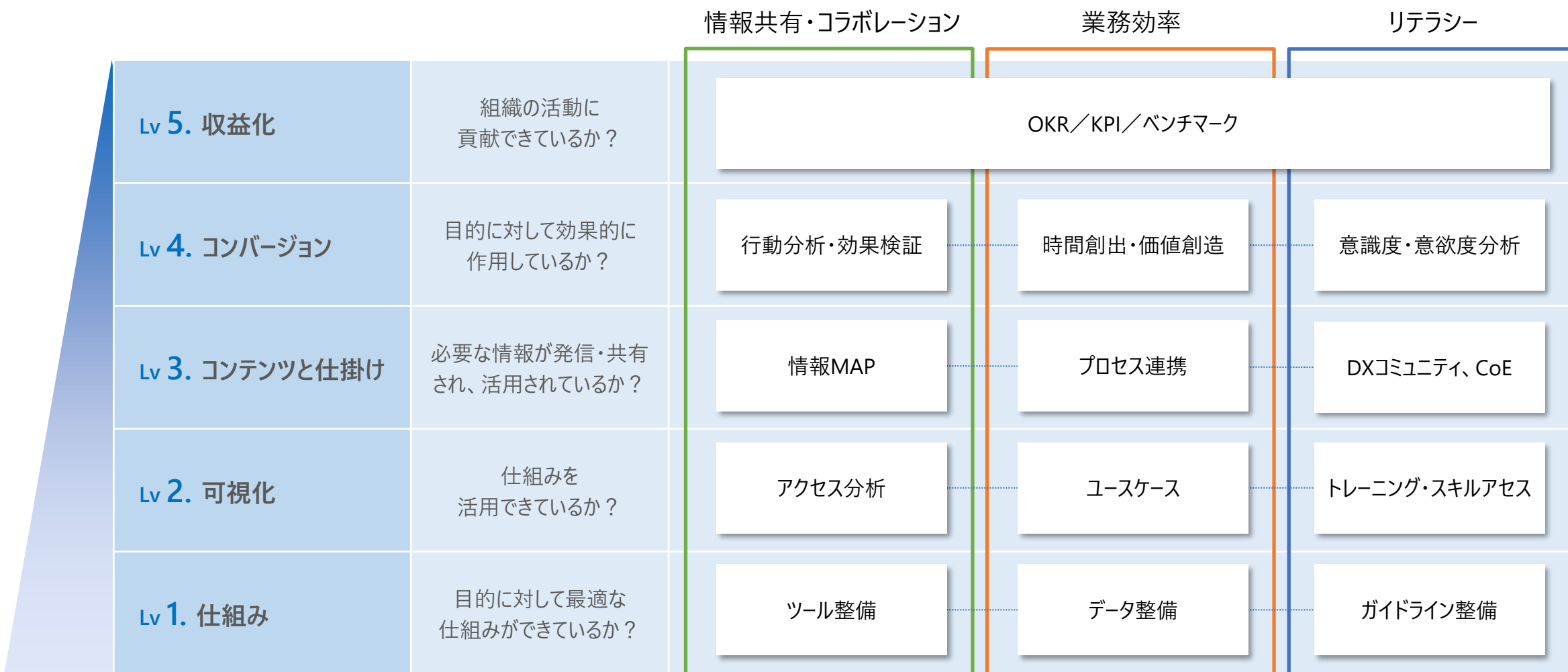
Virtual Staffは、InSiteとは別契約が必要です。



正確な情報が蓄積・更新されている InSite 業務サイト と 業務AI アプリ を結び付けることで
業務に特化した専門性の高いAIアプリが完成！

プラットフォーム成熟度モデル (Platform Maturity Model = PMM) とディスカバリーズの考え方

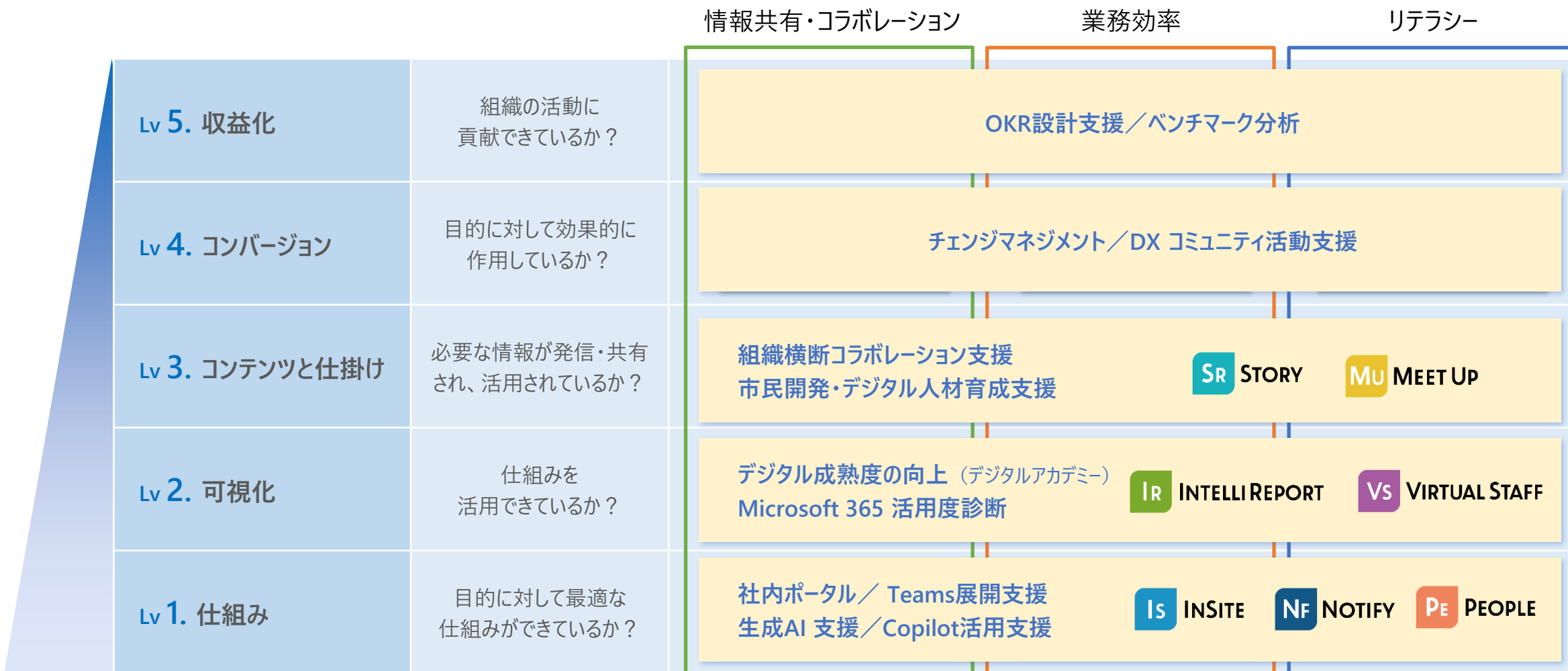
仕組みを導入して終わりではなく、情報を共有し組織横断的なコラボレーションの推進、業務を効率化するプロセス連携、情報を活用する一人ひとりのリテラシー向上を進めることで、プラットフォームの価値を高め、組織活動に貢献できると考えます。



ディスカバリーズが考える打ち手

プラットフォーム成熟度モデル (Platform Maturity Model = PMM) とディスカバリーズの考え方

仕組みを導入して終わりではなく、情報を共有し組織横断的なコラボレーションの推進、業務を効率化するプロセス連携、情報を活用する一人ひとりのリテラシー向上を進めることで、プラットフォームの価値を高め、組織活動に貢献できると考えます。

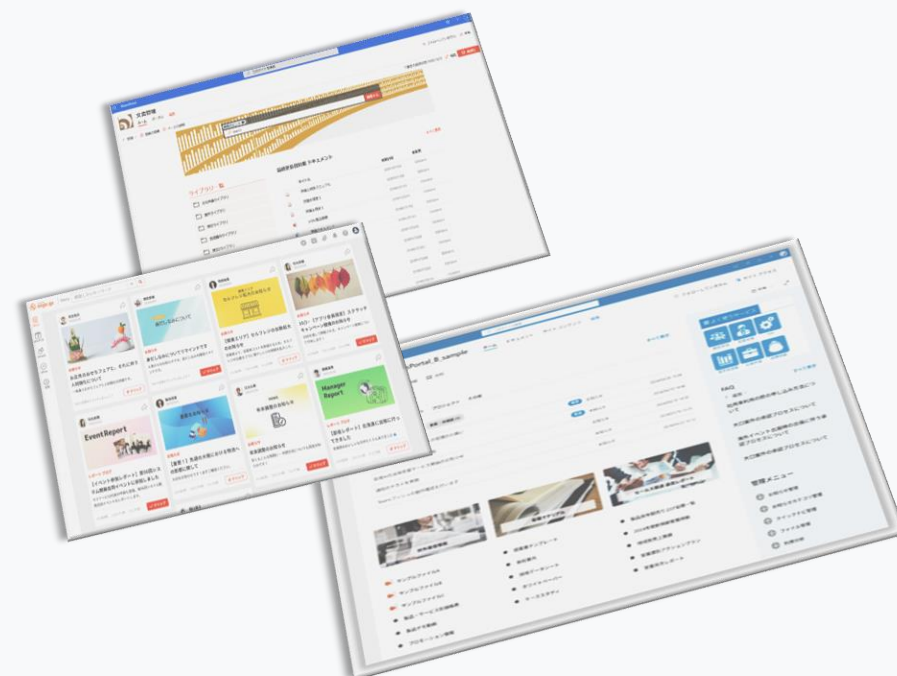


ディスカバリーズのサービス／プロダクト

導入のステップ



- 導入事例
- 導入ステップ
- セキュリティ



株式会社プレナス

新たなコミュニケーションプラットフォームを構築し、社内ポータル利用率50%向上

導入前の組織の状況

コミュニケーションツールがPCだけではなく、スマートフォンに広がるなど複雑化する中、プレナスでも、社内報サイトへのアクセスの減少が見られるなど「社内情報の平等化」が担保しづらい状況に。この状況を抜本的に解決し、さらなる改良を目指すべく、コーポレートコミュニケーション室とデジタルプラットフォーム部を中心に、社内情報サイトのリニューアル企画が立ち上がりました。

取り組み

「ほっともっと」「やよい軒」「MKレストラン」などの店舗を、海外を含め約3,000店舗のフランチャイズ事業を展開するプレナスでは、全国各地で働く約1,600人の社員に対し、いかに効率よく、効果的に情報を伝えていくべきかが課題でした。グループウェアを Microsoft 365 に切り替えコミュニケーションの方法が多岐に広がる中、情報共有の偏りに危機感を覚え、課題解決策として「Discoveries engage」と「Discoveries InSite」を採用し、理想のコミュニケーションプラットフォームを実現しました

お客様の声



株式会社プレナス 総務本部
コーポレートコミュニケーション室 リーダー
原野貴子氏

全社を巻き込んだアジャイル型の開発は初めての経験でしたが、おかげさまで円滑にできました。



株式会社プレナス 総務本部
コーポレートコミュニケーション室
竹下卯乃氏

Discoveries engageへの社員データ登録の促進など、より多くの人を巻き込むための取り組みをすでに始めています。



社内報サイト「プレナビ」

株式会社ミルボン

InSite ポータルとInSite モバイルを活用して情報検索が1/4まで改善

導入前の組織の状況

複数のリストやライブラリに情報を蓄積して SharePoint の利用を開始。情報が保存され社員が利用できるようになると、必要な情報が見つけれない問題が発生していました。担当部門や情報企画室にも「どこにアクセスすれば良いのか」と問い合わせが日々絶えない状況でした。

取り組み

社内サイトやサーバーに散財していた情報の整理と、デザインされたポータルサイトの導入により誰もが迷わずに情報に到達でき情報の検索性の向上が図られ、結果的に電話やメールで同僚に確認する手間が省け時間の効率化に成功しました。

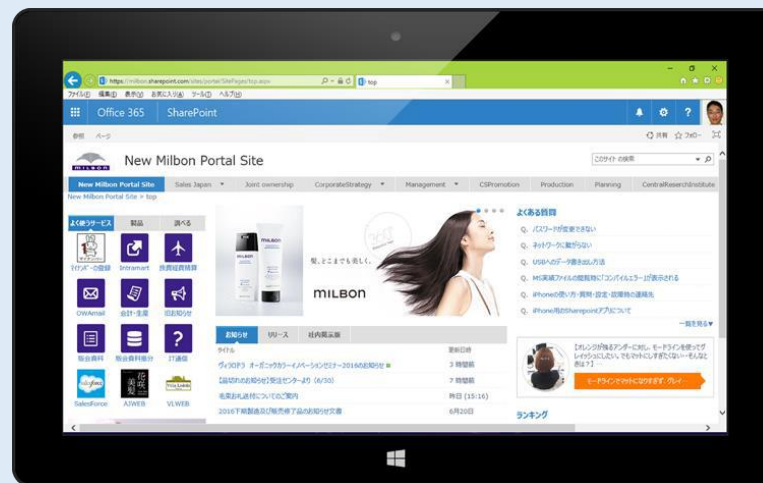
お客様の声



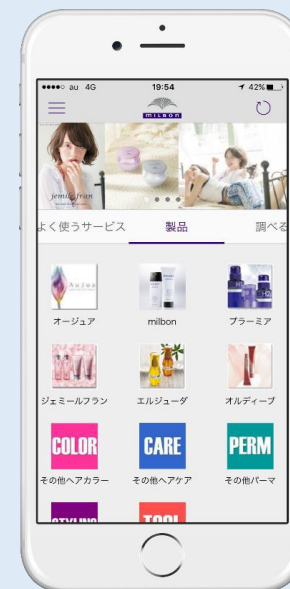
株式会社ミルボン
経営戦略部 情報企画グループ
情報企画室 岡崎 鉄夫 氏

活用の幅を広げるためには『どこに何があるかがわかる』に尽きると思います。整理された情報をビジュアルで直感的に理解できることは、利用者へメリットを訴求していることの1つです。(中略)

整理されているからユーザーが使う、ユーザーに使われるから発信者はさらに情報を投稿する。ポジティブなサイクルができてきたのは非常に大きいです



社内ポータルサイトトップページ



スマートフォンでみた社内ポータルサイト

JFEコムサービス株式会社

InSiteを導入し、委員会設置からわずか6カ月でポータルを公開

導入前の組織の状況

社員数250名ながら国内6か所に拠点を構える上に常駐エンジニアもいるため、全社員の一体感の醸成は重要な課題の一つ。経営層と若手社員を含む全社員で社内コミュニケーションのあり方についてディスカッションが重ねられました。

取り組み

集められた意見を基に、今までにはなかった“社内ポータル”の構築・運用を目指すことに。ポータルに必要な機能がすべてパッケージされ、個別ニーズに合わせてカスタマイズできる「Discoveries InSite」が選定されます。その InSite に含まれているディスカバリーズ・エンゲージ エssenシャルズ^(*)の『タイムライン^(*)』と『ピープル』を活用して、ポータル上に双方向の情報発信ときめ細かな社員プロフィールを公開しました。

お客様の声



JFEコムサービス株式会社
執行役員 山本 福己氏

会社からのスムーズな情報提供だけでなく、社員からの発信が気軽にできることは風通しの良い企業カルチャーを作る上でとても大切なことです。当社のような規模の会社で新たに仕組みを作るのは大変ですが、InSiteはそれを実現してくれました。写真やイラストを多用できるデザイン性も気に入っています。



タイムラインに投稿されたストーリー

*1 ディスカバリーズ・エンゲージ エssenシャルズは現在販売を終了しており、ディスカバリーズ・エンゲージとしてご提供しています。 *2 「タイムライン」は名称が「ストーリー」に変更されました。

株式会社東横イン

業務効率化・効果の見える化を目指した社内ポータルを構築し、
毎月600件超のFAXをゼロに。

導入前の組織の状況

接客品質の向上を図るためには、上意下達の一方向的な情報提供を行うだけではなく、現場のスタッフからの情報発信も不可欠です。その中で、今まで各店舗の発注承認申請など、FAXと紙で行っていた各種申請業務を改良することも重要でした。これらは本社スタッフが集計のためにPC入力を行う手間があり、承認がどこまで進んでいるのか分からず、各店舗では『いつ届くのか...』と気を揉む状況がありました。こうした要望を満たす社内ポータルとして、Office 365 の SharePoint Online の活用を決定しますが、SharePoint Online の自由度が高く、初心者にはハードルが高いという課題がありました。

取り組み

ディスカバリーズの提供する「Discoveries InSite」に「導入支援コンサルティング」を併せて活用。機能要件の整理から構築、そして運用開始後の社内への定着に至るまで、ディスカバリーズのコンサルタントからナレッジを得つつ、二人三脚でプロジェクトは順調に進みました。「社内ポータルの要件整理」と「業務プロセスを改善するワークフローの定義」に十分な時間をかけながらも、プロジェクト開始から半年後には完成し運用を継続されています。

お客様の声

東横INN豊橋駅
東横INN三河安城駅新幹線南口
支配人 熊澤 加代子 氏



目指すべき社内ポータルの明確化、ワークフローの整備などは、ディスカバリーズさんの知見を借りることで、予想しなかったほどスムーズに完了しました。そのほか、女性スタッフを意識したサイトのデザイン、リンクメニューの整理や検索機能の見しといった要望にも非常に迅速に対応していただきました。

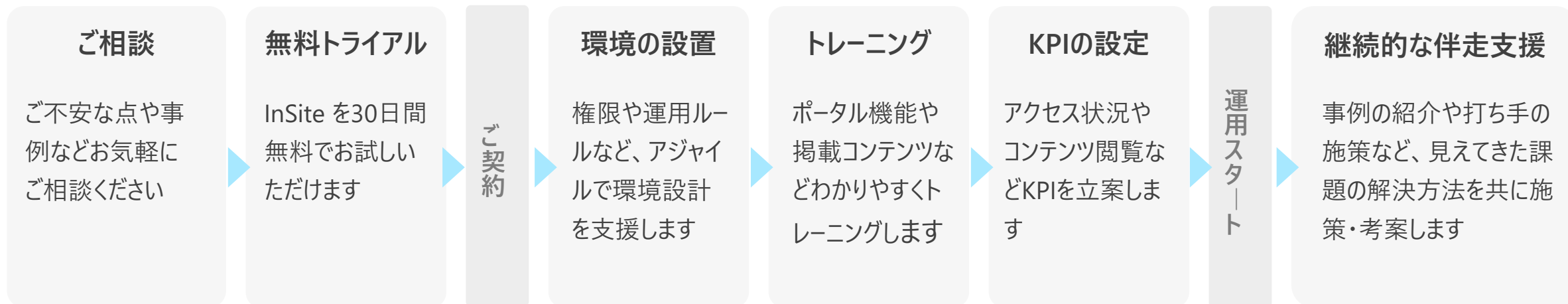
今後の活用深化や機能改善に向けて、とても良い協力関係が築けたと思います。



社内ポータル T-net トップページ（イメージ）

導入ステップ

安心して導入をご検討いただき、運用を進めていくことができる体制・ご支援を備えています。



実際に自社のデータを入力し、全ての機能を試す

「トライアル」

クラウド環境でお試しいただくための初期設定はカスタマーサクセスマネージャーが無償で伴走支援を行います。



実際のディスカバリーズ・インサイトの画面をご覧いただきながら使い方や機能をデモンストレーションでご案内することもできますので、お気軽にお問い合わせください。

<https://discoveries.co.jp/discoveriescloud/>

オンボーディング

ディスカバリーズではInSite製品の導入をご検討、もしくはご契約いただいたお客様に、以下のオンボーディングプロセスに沿った製品設置や活用のご支援を行っております。



システム要件とサポート

導入後も定期的なアップデート（Microsoft 365仕様変更対応含む*1）や新機能の提供が行われ、自社開発よりもコストを圧縮できます。

システム要件

環境設定アカウント要件

- 推奨 Microsoft 365 グローバル管理者
- 必須 SharePoint 管理者

利用者システム要件

- サポートブラウザ Windows 版 Microsoft Edge 最新バージョン、Google Chrome 最新バージョン
- Microsoft 365 ライセンス、Microsoft 365 Business Standard、Business Premium、Office 365 E1、E3、E5、A1、A3

カスタマーサポート

InSite の使い方を調べたい場合

- サポートサイトから製品の使い方、仕様、お困りごとを解決に導く情報を確認いただけます。

InSite の問い合わせをする場合

- InSite 管理者向けサイトからお問い合わせを送信いただけます。

InSite のフィードバックをする場合

- InSite 管理者向けサイトからフィードバックを送信いただけます。

*1 すべての仕様変更に対応することを確約するものではありません。

セキュリティ

お客様に安心してご利用いただくためのセキュリティ環境が整っております

IPアドレス制限



指定された環境以外からのアクセスを遮断するなど、組織での利用環境に合わせ、運用いただけます。

多要素認証設定



Microsoft 365 設定に基づきアカウントに対する MFA の強制、テナント単位のセキュリティポリシーを設定・維持しつつ InSite でご利用可能です。

データ保護のための暗号化



Microsoft のテクノロジーに準拠しており、第三者がアクセスしても、解読できないようにデータを暗号化し、不正アクセスを防ぎます。

暗号化された通信 (SSL化)



Microsoft のテクノロジーに準拠しており、ネット上の通信を暗号化し、第三者によるデータの改ざんやなりすまし、情報漏洩を防ぎます。



情報セキュリティ国際規格 ISMS 27001 取得

2018年に初回取得後、定期的に認証を受け、運用・管理を行っています。

お客様に安心してご利用いただけるよう、社内でも規定されているルールに従い、日々運用に取り組んでいます。

design for your innovation



● DISCOVERIES ●

© Discoveries Inc. All rights reserved.

Discoveries Inc. および、Discoveries InSite、IntelliReport、Discoveries engage は、ディスカバリーズ株式会社の商標です。

その他、記載されている会社名および製品名は、各社の商標または商標登録です。

この資料の内容は2024年11月現在のものです。内容については予告なく変更する場合があります。